

狭山市教育委員会
教育長 滝嶋 正司 様

狭山市立新狭山小学校
校長 瀬戸口 秀之

令和4年度 新狭山小学校 自己評価書

1 本年度の重点目標

(1)学力の定着・向上 (2)豊かな心の育成 (3)基礎体力・健康の向上 (4)特別支援教育の充実
(5)危機管理に強い学校づくり (6)開かれた学校づくり (7)異校種との連携充実 (8)安全教育の推進と環境の整備

2 本年度の経営方針

(笑顔・健康・協働・信頼)

- ①子供ファースト……すべては子供のため、子供のための学校
- ②子供も教師も健康…心身健康でこそ、本来の力が発揮できる
- ③チーム新狭山……コミュニケーションを大切に、組織的な教育活動を進める

3 自己評価結果

【評価の目安】A:よくできている(90%) B:概ねできている(85%以上) C:あまりできていない(70%以上) D:できていない(70%未満)

領域	番号	評価の観点	達成状況	意見・改善の方策
1 学校教育 目標	1	共通理解が図られ、実現の努力がなされたか。	A	管理職が相談に乗ってくれてありがたい。
	2	保護者への浸透が図られたか。	A	
	3	経営方針について共通理解が図られ実現の努力が図られたか。	A	
2 校務 分掌	4	分掌の内容や責任が明確であったか。	A	部会を計画的に実施し、教育目標の具現化に努められた。
	5	分掌が活発に機能し各分掌の連携が図られたか。	A	
	6	各分掌の組織が合理的に編成されているか。	A	
3 教育 計画	7	学校教育目標や経営方針を具体化するために編成されているか。	A	行事の計画がコロナ禍のため、大幅に変更になったが、先生方の協力で、子供たちのためになる行事を計画実践することができた。
	8	年間授業日数が適切に配当されていたか。	A	
	9	授業日数の確保の努力が十分なされたか。	A	
	10	開かれた学校づくりに努力がなされたか。	A	
	11	教員が教育計画実施の担い手であるという自覚を持てたか。	A	
4 学年 学級 経営	12	時間割により十分な成果を得ることができたか。	A	給食や清掃は、コロナの心配がなくなっても、黙働が基本で良いと思います。
	13	学校・学年・学級経営の方針に一貫性があったか。	A	
	14	計画的、意図的に学年、学級経営が進められたか。	A	
	15	児童の自己決定の場が多く設定されたか。	A	
	16	学習規律、授業の挨拶等の徹底がなされたか。	A	
	17	教室環境の整備に努力がなされたか。	A	
	18	朝の会、給食、清掃、帰りの会などに工夫改善が加えられたか。	A	
5 学習 指導	19	朝の読書への取り組みがしっかりなされたか。	A	情報機器を積極的に活用することができなかったため、来年度活用できるようにしていきたい。家庭学習の取り組みは、個人差が出てしまって反省している。
	20	児童が進んで学ぶ授業の改善がなされたか。	A	
	21	基礎的・基本的内容を身につけさせるような工夫改善がなされたか。	A	
	22	児童の長所を伸ばす評価の工夫がなされたか。	A	
	23	児童は家庭学習に進んで取り組んでいたか。	B	
	24	視聴覚・情報機器の積極的、効果的な利用がなされたか。	C	
6 道徳 教育	25	全体計画を理解し、全教育活動をととして道徳教育の実践がなされた。	A	昨年度の校内研修を生かし、計画通りに実践できた。
	26	道徳の時間が児童の実態把握に基づき、計画的に実践されたか。	A	
7 特別 活動	27	全体計画を理解し、児童の自己決定の場が多く設定されたか。	A	
	28	全体計画が、児童の実態把握に基づき、計画的に実施されたか。	A	
	29	児童会活動及び異年齢集団活動が計画的に実現されたか。	A	

	30	奉仕活動(係活動や当番活動も含む)の活発化がはかれたか。	A	
8 学校行事	31	学校行事が計画的に実施されたか。	A	コロナに配慮しつつ行えてよかった。児童が生き生きと取り組んでいる姿をみると改めて重要だと感じた。
	32	学校行事の特性を生かし、児童の自己実現が図られたか。	A	
	33	職員の仕事分担が適切であり、お互い協力がなされたか。	A	
9 生徒指導	34	全体計画に基づき、計画的な指導がなされたか。	A	無言清掃を促したがあまり浸透させることができなかった。学級でも話し合いをしていきたい。教頭先生・校長先生・学年、生徒指導、職員全体で学級を見ていただき、協力体制に感謝しています。不登校に関して、ご家庭のお考えもあり、積極的に指導することができませんでした。
	35	職員に共通理解があったか。	A	
	36	カウンセリングマインドに心がけて指導がなされたか。	A	
	37	教育相談活動が計画的に実施されたか。	A	
	38	基本的な生活習慣が定着するよう指導がなされたか。	A	
	39	児童が意欲的に清掃活動を行うよう指導がなされたか。	A	
	40	いじめや不登校の指導が積極的になされたか。	A	
41	不登校児童が出ないよう努力がなされたか。	A		
	42	家庭、地域、諸機関との連携が密に行われたか。	A	
10 保健・安全指導	43	保健観察が丁寧に行われた。	A	特にこれからの季節は感染症予防の取り組みとして換気を適切に行えるよう、二酸化炭素測定器など活用して取り組めるようにしたい。
	44	児童の危険な行動【予測されるものを含めて】に対して適切な安全指導がなされたか。	A	
	45	新型コロナウイルス感染予防の取り組みの徹底がなされたか。	A	
	46	健康や体力向上に進んで取り組む指導がなされているか。	A	
	47	治療が必要な児童に適切に治療勧告がなされたか。	A	
	48	事故に対する対応が適切になされたか。	A	
	49	性に関する指導が共通理解のもとに行われたか。	B	
50	給食指導が適切になされたか。	A		
11 職員会議	51	開始時刻が守られたか。	A	
	52	問題意識を持って臨めたか。	A	
	53	議案の内容や提案のし方が適切であったか。	A	
	54	建設的な意見が述べられ、よりよい会議の進行に協力的であったか。	A	
	55	会議の内容がよく理解され、決定されたことが責任持って実行できたか。	A	
	56	自己評価シートの内容が適切に進められたか。	A	
12 教職員の 服務	57	教育公務員としての自覚を持ち公務員倫理のもとサービスの厳正に努めたか。	A	
	58	ゆとりを持った出勤がなされたか。	A	
	59	服装、言葉遣い、挨拶等は適切であったか。	A	
	60	出張や研修の報告が速やかに行われたか。	A	
	61	組織の一員としての自覚に基づき一人一人の責任が果たせたか。	A	
	62	健康維持増進のための努力がなされたか。	A	
13 校内 研修	63	研究主題が児童・地域の実態や課題を踏まえた適切なものであったか。	A	
	64	研究組織やすすめ方は研究内容に応じて合理的・機能的であったか。	A	
	65	教職員が意欲的に取り組んでいたか。	A	
	66	研究の結果、児童の変容が見られ、児童のためになったか。	A	
	67	研究内容が日々の指導の中に生かされ、教員にもしっかり身についたか。	A	
	68	研究の成果を次年度に生かす見通しができたか。	B	
14 施設 設備	69	施設設備が丁寧に正しく利用できたか。	A	使用後のかたづけがおろそかになっている。
	70	備品の所在数量使用方法などが明確に把握され、有効に利用されたか。	B	
	71	使用後は施錠等が確実になされしっかり後始末ができたか。	A	
	72	掲示施設が有効に活用され、掲示教育が積極的になされたか。	A	
	73	環境整備に児童も積極的に参加し、積極的な活動がなされたか。	A	
15 学校 事務	74	出勤簿は毎朝、押印された。	B	出席簿はまとめて入力してしまっているため毎日入力するよう心掛ける。
	75	旅行命令簿はその都度、適切に記入された。	A	
	76	出席簿は毎日入力され、月ごとの集計は滞りなく行われた。	A	
	77	文書は事前に校長に提出し、点検を受け、期限までに発送されたか。	A	
	78	現金の取り扱いは細心の注意が払われ、会計事務は適切に処理されたか。	A	

16 PTA 家庭 地域	79	保護者会等は適切に計画され遂行されたか。	A	
	80	学年・学級便り等の発行は適切になされ、保護者への情報提供は適切であったか。	A	
	81	地域や家庭を積極的に理解するよう努力されたか。	A	
	82	学校応援団・SC・相談員・日本語指導員などが積極的に活用されたか。	C	
	83	積極的にPTAや地域の活動へ積極的に参加したか。	C	
17 総合	84	内容は児童の興味をそそるものであったか。	A	年間指導計画の詳細を作り、次年度への引継ぎを確実にやっていく。
	85	計画に沿って実施できたか。	A	
	86	図書室・タブレットPC等の利用は計画的に適切に行われたか。	A	
18 特別 支援	87	特別支援学級との交流が計画的になされたか。	A	
	88	就学相談を組織的、計画的に実行することができたか。	A	
	89	UDの視点で、全ての児童に合理的配慮がなされたか。	A	